

平成20年3月の解説（府県天気予報）

【3月の天候状況】

上旬は移動性高気圧に覆われ、全国的に晴れて北日本を中心に暖かい日が多くなりました。中旬は日本付近を低気圧がときどき通過し、太平洋側を中心にまとまった雨となりましたが、その他の日は全国的におおむね晴れて気温の高い日が続きました。下旬は中ごろに日本付近を低気圧が通過し、全国的に雨となり、沖縄や四国の一部では大雨となりました。その後、上空の寒気がゆっくりと通過したため、各地で大気の状態が不安定となり、降ひょうや突風の観測されたところがありました。

月を通しての日照時間は、北日本の太平洋側で少なかったほかは全国的に多くなりました。降水量は北日本では少なく、かなり少なかったところもありましたが、沖縄・奄美では多くなりました。その他の地方は大体平年並みになりました。月平均気温は北日本と東日本でかなり高く、西日本では高くなりました。

【3月の検証結果】

17時発表の天気予報で「降水の有無」の全国平均の適中率は明日予報が85%で例年（注）より2ポイント高く、明後日予報が82%で例年より3ポイント高くなりました。地方毎の適中率では、明日予報は近畿から九州北部で例年より1から3ポイント低いほかは高く、九州南部地方で11ポイント高くなりました。明後日予報は関東甲信で4ポイント、中国地方で7ポイント例年より低いほかは高く、九州南部地方で11ポイント、沖縄地方で10ポイント高くなりました。明日の最高気温の予報誤差は、関東甲信、東海、近畿、中国、九州南部地方で例年より0.4 から0.5 小さく、全国平均は例年より0.3 小さい1.5 でした。また、最低気温の予報誤差は、大体各地方とも例年並みで、全国平均は例年と同じ1.6 でした。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【3月の天気予報から】

3月6日から7日にかけて、低気圧が日本海から関東地方の東海上に進み、高気圧が東北地方に張り出して来ました（図1）。

3月6日の夕方に発表した東京地方の明日7日の天気予報は「晴れ時々くもり夜のはじ

め頃一時雨」で、降水確率を12-18時が30%、18-24時が50%と発表しました。これは、低気圧が東の海上に抜ける7日には関東地方の上空に冷たい空気が流れ込んで大気の状態が不安定になると予想し、関東地方の南部などで雨が降るものと考え、東京地方の降水確率をこのように予報しました。

東京（大手町）では7日の夜のはじめ頃には雨となり、4mmの降水量を観測しました（図2）。しかし、降水の範囲は予想より狭く、東京地方で降水量を観測したのはアメダス10地点中、東京（大手町）・新木場・羽田の3地点でした（図2）。

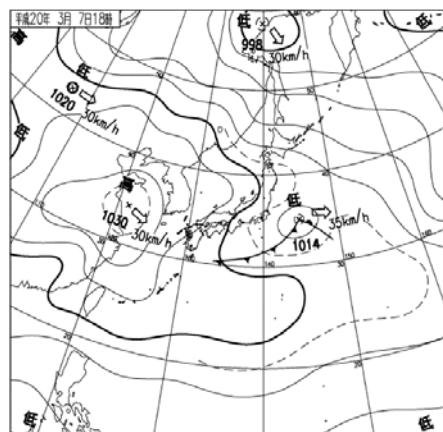


図1 平成20年3月7日18時の地上天気図

今回の場合、予想では山梨県から関東地方の南部を中心とした地域で雨の降る可能性が大きいとされていました。こうした上空の寒気による局地的な降水現象を、降水の地域や量を絞って的確に予報することは難しいことが多いです。

地域気象観測毎時降水量日報

2008年3月7日 東京都(44)

単位: mm

時刻	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	日合計	日最大		日最大	
																										1時間降水量	10分間降水量	1時間降水量	10分間降水量
観測所名																									最大	時分	最大	時分	
小河内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
小沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
青梅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
練馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
八王子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
府中	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
世田谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1920	
東京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	4	1920		
新木場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	4	2	1940		
羽田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4	3	1940		

図2 東京における2008年3月7日の毎時降水量

【5月の天気予報の利用にあたって】

5月の天気の特徴の1つは、東西に長く伸びた高気圧に覆われて晴れる日が続くことですが、時には低気圧が発達しながら通過して大荒れの天気となったり、本州の南岸に前線が停滞して曇りや雨の日が続くこともあります。

5月は晴れて穏やかな日が続くこともありますが、一方で雷、強風、大雨などもしばしば発生します。野外での活動を計画する場合には、天気予報で気温、風、天気などの気象条件を十分確かめた上で、天気の急変などに備えて事前に十分な対策を準備することをお勧めします。